

2022年11月1日

報道各社 各位

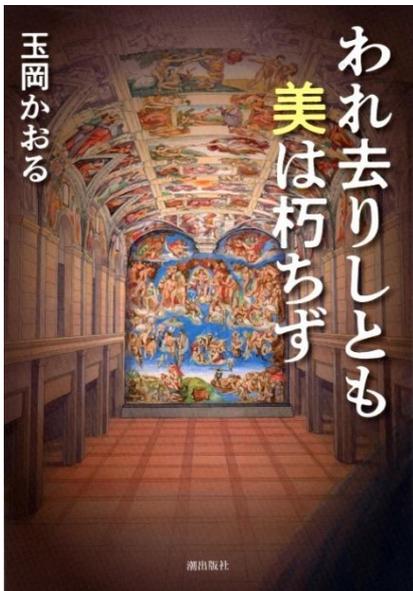
大塚国際美術館

## <大塚国際美術館よりお知らせ>

# 大塚国際美術館 創設のドラマを描いた書き下ろし小説 『われ去りしとも 美は朽ちず』 発売記念 玉岡かおる トークショー&サイン会 2022年11月12日(土) 14:00~ 会場：大塚国際美術館 地下3階センターホール

大塚国際美術館（徳島県鳴門市）は、日本最大級の陶板名画美術館創設にかけた人々の情熱を描いたアート小説『われ去りしとも 美は朽ちず』（潮出版社刊）の発売を記念し、2022年11月12日に、著者玉岡かおる氏のトークショー&サイン会を開催いたします。

執筆エピソードを直接聞くことのできる、またとない機会です。芸術の秋に、ぜひご参加ください。



### <イベント概要>

日時：2022年11月12日(土)

14:00~(約40分)+サイン会

会場：大塚国際美術館 地下3階センターホール

※参加無料ですが、入館料が必要です

※申し込み不要・自由席

お問い合わせ先：大塚国際美術館 Tel.088-687-3737

### 緻密な取材と確かな知識基盤から描き出された 渾身のストーリー

世界の美術業界に革命をもたらした陶板技術について、その技術を発見し、美術作品として活用することで、世界に類を見ない規模の美術館として広く知られている大塚国際美術館(作中名称)。その設立に尽力した人々の姿を描くことで、「陶板」という、一つのおおきなムーブメントを起こした先見性、可能性、将来性を、老若男女問わず、

世界中のアートに興味をもつ人々、とりわけ若い世代に対して訴えかける。

当時の陶板制作の現場担当者、著作権取得に関する交渉話、美術館建設に関する話等を、関係者への取材に基づき、著者の想像力で飛躍させたアート小説。

### ~作家 玉岡かおるさんからメッセージ~

私の新刊『われ去りしとも 美は朽ちず』で書き下ろした大塚国際美術館の創設の物語。その壮大なコンセプトと実現のための苦難の過程を、あらためて皆さまとともに思いをはせてみたいと思います。陶板名画の数々に囲まれ、ゆったり美の殿堂を味わうトークショー。ぜひお楽しみください。

玉岡 かおる

## 玉岡かおるさんプロフィール

作家。兵庫県三木市生まれ。15万部のベストセラーとなった神戸文学賞受賞作『夢喰い魚のブルー・グッドバイ』で'89年文壇デビュー。紀行・エッセー集まで、年1冊のペースで多数出版中。舞台化、TVドラマ化された『お家さん』で第25回織田作之助賞受賞。最新刊は『姫君の賦～千姫流流～』で'21年12月オペラ化決定。『春いちばん～賀川豊彦の妻ハルのはるかな旅路～』を月刊「家の光」で連載した。'20年兵庫県功労者表彰（県勢高揚）、文部大臣表彰（地方教育行政）、'21年文部大臣表彰（地域文化振興）。2022年5月『帆神 北前船を馳せた男・工楽松右衛門』で第41回新田次郎文学賞受賞。



## 大塚国際美術館

大塚国際美術館は、大塚グループ創立75周年記念事業として創業の地である徳島県鳴門市に1998年3月21日に開館した「陶板名画美術館」です。館内には古代壁画から世界26カ国190余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1000点を超える西洋名画を特殊技術によって、陶板で原寸大に再現。館内にはレオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」をはじめ、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがある名画が一堂に会し、日本にいながら世界の美術館を体験できます。

### 陶板名画

大塚グループの一つである大塚オーミ陶業株式会社が開発した陶製の板（セラミックボード）に原画の写真を忠実に転写し、細部に至るまで幾度もレタッチを重ね、限りなくオリジナル作品に近づけることに成功した美術陶板のことです。最終仕上がりを考慮し、釉薬の決定から色分解、製版、転写などの各工程を経て、約1300度の高温で焼成。このため、退色劣化することなく約2000年以上にわたってそのままの色と姿で残り、美術書や教科書と違い原画が持つ本来の美術的価値を真に味わうことができます。

【住所】〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【TEL】088-687-3737 【FAX】088-687-1117

【URL】<https://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時（入館券の販売は16時まで）

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）

1月は連続休館あり、その他特別休館あり\*8月無休

【入館料】一般3,300円 / 大学生2,200円 / 小中高生550円

\*20人以上の団体は10%割引

世界の名画に  
出合える美術館



### 直通高速バス\*乗り換えなしで快適・安心\*

京都、大阪、神戸より大塚国際美術館まで直通高速バス(西日本JRバス、徳島バス、海部観光バス)がごございます。運行状況については、事前に各バス会社のホームページでご確認ください。

《お問い合わせ先》大塚国際美術館 学芸部 富澤、松浦

TEL : 088-687-3737 FAX : 088-687-1117 MAIL : info@o-museum.or.jp

※ご来館に際し、必ずホームページの《安心・安全のための取り組み》をご一読ください